ウイルス性肝疾患の診療に関するアンケート　調査票

　肝炎対策基本法に基づく肝炎対策基本指針において、「医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む。」とされており、組織的な取り組みをお願いしているところです。

この度、肝炎ウイルス検査体制の整備、受診勧奨及び普及啓発を効果的に推進することを目的にアンケート調査を実施しますので、貴院の実施状況についてご回答ください（なお、回答は診療科ごとではなく、各施設を代表してご回答ください）。

　お忙しいところ大変恐縮ですが、本県における肝炎対策推進のため御協力いただきますようお願いします。

締切：１０/３１（金）

「電子申請サービス」

回答フォーム

【回答先】　鳥取県 福祉保健部 健康医療局 健康政策課

ＦＡＸ：０８５７－２６－８７２６

メール：[kenkouseisaku@pref.tottori.lg.jp](mailto:kenkouseisaku@pref.tottori.lg.jp)

とっとり電子申請サービス：

<https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18360>

　　　※この様式は鳥取県庁健康政策課のホームページからダウンロードすることができます。

　　　　　鳥取県　健康政策課　肝炎対策　　検索

　　　　　https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1003094.htm#itemid1003094

貴院の情報についてご回答ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 医療機関名 |  |
| 診療科  （○をしてください） | 消化器内科・内科（消化器系以外）・消化器外科・外科（消化器系以外）・整形外科・耳鼻科・眼科・泌尿器科・皮膚科・産婦人科・小児科・精神科・麻酔科・歯科・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 担当者（記載者） | 所属部署：  職名：  氏名： |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

貴院の状況について、当てはまるものに☑、又は（　）に記述してください。

問１　肝炎ウイルススクリーニング検査は実施していますか。

実施している　→　実施内容に☑してください。（　 HBs抗原検査　　 HCV抗体検査）

実施していない

問２　肝炎ウイルス検査が陽性だった場合の対応について

陽性・陰性に関わらず口頭で説明し、文書で提供している

陽性・陰性に関わらず口頭で説明している

陽性の場合のみ口頭で説明し、文書で提供している

陽性の場合のみ口頭で説明している

担当医に一任しており、一律のルールはない

肝炎ウイルス検査結果について説明していない

その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問３　肝炎ウイルス陽性者の拾い上げについて対策を取っていますか。

取っていない

取っている　→それはどのような方法ですか。　 電子カルテアラートシステム

職員による確認と結果通知

その他（　　　　　　　　　　　　　）

問４　肝炎ウイルス検査陽性者の受診勧奨およびフォローアップについて

消化器病専門医または肝臓専門医へ紹介している

先生ご自身で精査やフォローアップを行っている

検査結果説明のみで紹介はしていない

検査結果を説明していない

その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問５　肝炎ウイルス検査陽性にもかかわらず消化器病専門医または肝臓専門医に紹介しない例がある場合、その理由について先生側のお考えを教えてください。（複数回答可）

患者さんが希望しないから、断られるから（問６の回答をお願いします）

精査・治療は不要だと思うから

自身で対応可能だから

紹介先がわからないから

紹介状を書く時間がないから

患者さんごとの病状によって判断している（問７の回答をお願いします）

その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問６　問５で「患者さんが希望しないから、断られるから」と回答した場合に回答ください。

　患者さん側から挙げられる理由は何ですか。（複数回答）

多忙　　　 面倒　　　 費用　　　 高齢　　　 症状がない

過去につらい治療を受けた　　 認知機能の低下　　 その他（　　　　　　　　　　）

問７　問５で「患者さんごとの病状によって判断している」と回答した場合に回答ください。

紹介不要と考えられるのはどのような患者さんでしょうか。（複数回答可）

認知症患者

アルコール依存症

肝機能正常→ＡＬＴの正常値はいくつで判定されますか。

＜２０　 ＜３０　 ＜４０　 その他（　　　　　　　　　　　　）

高齢 （　　　）歳以上を目安にしている

透析患者

難治性の他疾患あり、予後不良の担癌患者

施設入所者

すでにかかりつけ医などで診療されている

その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問８　Ｂ型肝炎・Ｃ型肝炎ともに、治療効果に優れ副作用の殆どない経口薬で治療が可能であることをご存じですか。

【経口薬の例】

Ｂ型肝炎（エンテカビル、バラクルード、ベムリディなど）

Ｃ型肝炎（マヴィレット、エプクルーサなど）

よく知っている

聞いたことがある

全く知らない

問９　近年、医療事故や医療訴訟としてニュースでも取り上げられている、「Ｂ型肝炎ウイルスの再活性化」について

よく知っており対策を講じている

知っているが特に対策はしていない

あまり知らない

全く知らない

問１０　今後、肝炎対策や肝炎関連医療安全に関する話題を取り上げて講演会やセミナーを企画する場合、ご希望されるテーマはありますか。（複数回答可）

肝炎患者の拾い上げ

肝炎診療の連携体制について

鳥取県肝炎医療コーディネーターについて

ウイルス性肝炎の基礎知識

ウイルス性肝炎の最新治療

鳥取県の肝がんの現状

Ｂ型肝炎の再活性化対策について

ウイルス性肝炎診療に関連する医療訴訟、医療安全対策

その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。